

研削盤の自動化を支える可視化技術

労働者の不足により、どの業界においても自動化は必須のキーワードとなっている。研削加工においても、その傾向は同様であり、工作物をジグに取り付けるところから始まり、研削前後での工作物形状の自動測定など、研削盤でできることは多い。これらに欠かせないのがセンサを用いた可視化技術である。可視化と言っても幅が広く、実際に目で確認するようなものから、研削抵抗などを測定しその加工状態を把握する可視化もある。そこで、研削にまつわる種類の可視化技術に着目し、4名の講師の方々にご講演いただく。

主催：公益社団法人砥粒加工学会 次世代固定砥粒加工プロセス専門委員会

日時：2025年2月28日(金) 13:00～17:00

開催方式：下記会場（対面）と Cisco Webex Meeting（Web）のハイブリッド形式で開催します。

日本大学 理工学部 駿河台キャンパス

タワー・スコラ 2階 S202 教室

当日連絡先：03-3259-0404

URL：<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/surugadai/>

※ 講演者には開催前の状況により、対面か Web のどちらでの講演かを選択して頂きます。

※ Web 開催に関する詳細情報は、参加ご希望の方に後日通知いたします。



13:00～13:05	開会挨拶	委員長 日本大学 山田 高三 氏
13:05～13:55	講演1 研削におけるインプロセスダイナミクス制御—スマート超砥粒ホイールを利用した研削加工—	有明工業高専 柳原 聖 氏
13:55～14:45	講演2 研削加工時のAE信号を用いた工作物表面粗さ推定技術の開発	福井大学 今 智彦 氏
14:45～15:05	<休憩>	
15:05～15:55	講演3 研削抵抗による工作物形状の予測と自動化研削	(株)ナガセインテグレックス 板津 武志 氏
15:55～16:45	講演4 センタレス研削盤に見る研削抵抗の見える化と工場の自動化技術	ミクロン精密(株) 高橋 征幸 氏
16:45～16:55	閉会挨拶・事務連絡	
17:10～19:10	技術交流会 1F カフェ	

参加費：研究会：当専門委員会会員：無料，非会員：15,400円（税抜額14,000円＋消費税1,400円），非会員アカデミア：6,600円（税抜額6,000円＋消費税600円），学生：無料

※会員は5人／社まで、非会員は2人／社まで研究会に参加できます。

技術交流会：会員資格に関わらず2名／社まで参加できます。3人目からは4,950円／人（税抜額4,500円＋消費税450円）を徴収します。

（注）「会員」とは専門委員会会員を指します。学会員ではございませんのでご注意ください。

申込締切日：2025年2月20日(木)

（注）当日キャンセルの非会員には、すでに準備に費用がかかっているため参加費を請求致します。

問合せ/申込先：当専門委員会事務局 田附由美宛

・FAX：048-858-3709, E-mail：sf-office@mech.saitama-u.ac.jp

・申し込みはホームページよりお願いいたします。→<https://jsat-sf.jp/event.html>